江津市のコミュニティ・スクール

■地域の現状

・江津市の人口は2013年4月末25,478人、2018年4月末23,836人、2023年4月末21,962人と人口減に歯止めがきいていない。
・各地域コミュニティ組織において、様々な取組みを進めているが担い手不足や、活動の継続など困難な状況が伺える。
・有効求人倍率が県内でもとりわけ高い傾向にあり、地域活動と同様に市内企業の人材不足が顕著となっている。
・市内各校では「ふるさと・キャリア教育」が推進され、各校において特徴的な教育活動が実践されている。
・教育活動に協力的・主体的な地域の人材や、学校支援に積極的な企業や起業人材が存在している。
・江津市ビジネスプランコンテストや市民大学等を運営するＮＰＯ法人の存在が市内人材のつながりを有機的にしている。

■これからの学校と地域の連携・協働（中教審答申より）

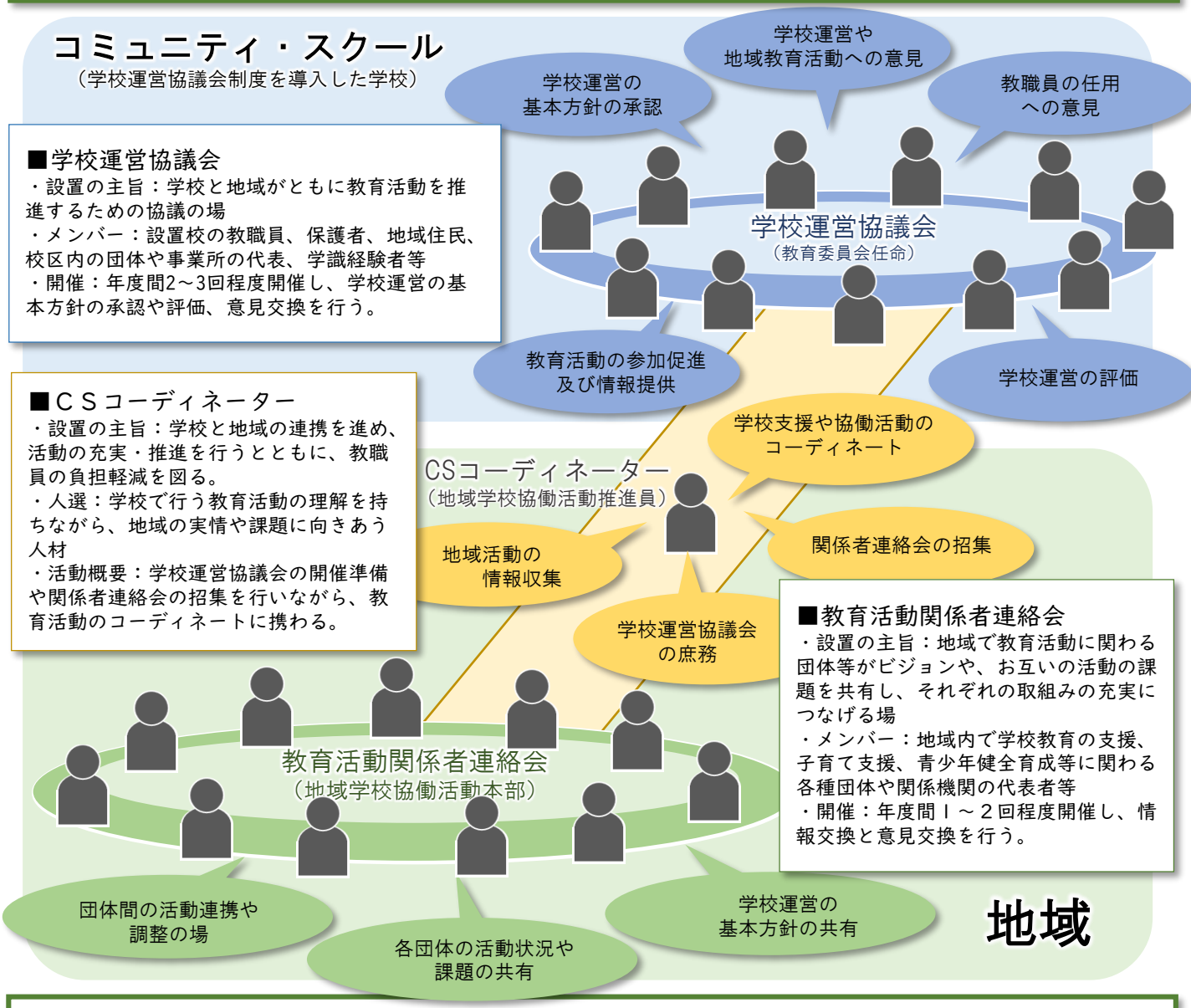
①地域とともにある学校への転換
②子どもも大人も学び合い育ち合う教育体制の構築
③学校を核とした地域づくりの推進

■江津市としての導入の目的

①「ふるさと・キャリア教育」の充実
②学校を含めた地域の魅力化
③学校や地域で行われる有意義な活動の持続性の担保

■導入により期待される効果

①教育活動の目標・ビジョンが共有される
②教育活動の維持可能な仕組みが構築される
③教育活動の役割分担と当事者意識が生まれる



■学校運営協議会

・設置の主旨：学校と地域がともに教育活動を推進するための協議の場
・メンバー：設置校の教職員、保護者、地域住民、校区内の団体や事業所の代表、学識経験者等
・開催：年度間2～3回程度開催し、学校運営の基本方針の承認や評価、意見交換を行う。

■ＣＳコーディネーター

・設置の主旨：学校と地域の連携を進め、活動の充実・推進を行うとともに、教職員の負担軽減を図る。
・人選：学校で行う教育活動の理解を持ちながら、地域の実情や課題に向きあう人材
・活動概要：学校運営協議会の開催準備や関係者連絡会の招集を行いながら、教育活動のコーディネートに携わる。

■教育活動関係者連絡会

・設置の主旨：地域で教育活動に関わる団体等がビジョンや、お互いの活動の課題を共有し、それぞれの取組みの充実につなげる場
・メンバー：地域内で学校教育の支援、子育て支援、青少年健全育成等に関わる各種団体や関係機関の代表者等
・開催：年度間１～２回程度開催し、情報交換と意見交換を行う。

■関係者にとって有意義な仕組みとなりうる可能性

①児童生徒にとって
・体験活動の充実・学びの広がり
・地域との関りから社会性や人間性の成長
・地域社会の担い手としての自覚の高まり
・防犯、防災等の対策による安心・安全の環境充実

②保護者にとって
・地域全体で子どもが育てられていることの安心感
・学校や地域への理解による家庭教育との相乗効果
・保護者どうしや地域とのつながりの深まりと広がり
・地域と協力したPTA活動や教育活動の充実

③地域にとって
・子どもの成長に関わるなかでの自己有用感や学び
・学校を核としたソーシャル・キャピタルの再構築
・地域企業における人材確保や、起業人材の育成
・学校と連携した地域の防犯、防災体制の構築

④学校にとって
・学校運営に対する地域の支援と理解が得られる
・多様な人材等との協働による教育活動等の充実
・地域課題を知る機会から職員のスキルアップ
・地域の協力により、子どもに向き合う時間の確保